

旅行収支の黒字、最大に

15年度 円安で訪日客急増

2015年度の国際収支統計では、訪日外国人の消費の大きさを映す旅行収支の黒字が同じ条件

2015年度と16年3月の国際収支
〔単位億円、カッコ内は前年度比および前年同月比%、▲は赤字または減少〕

	15年度	16年3月
▽経常収支	179,752	29,804
貿易・サービス収支	▲5,810	11,701
貿易収支	6,299	9,272
輸出	731,355	63,316
	(▲3.3)	(▲11.4)
輸入	725,057	54,044
	(▲11.8)	(▲16.6)
サービス収支	▲12,109	2,429
旅行収支	12,731	1,104
知的財産権等使用料	24,159	3,264
第1次所得収支	205,611	21,317
第2次所得収支	▲20,048	▲3,215
▽資本移転等収支	▲7,008	▲233
▽金融収支	245,338	53,558
▽誤差脱漏	72,594	23,988

で比べられる1996年度以降で最大になった。14年度から2年連続の黒字で、2年以上続けて黒字になるのは51～59年度以来となる。約半世紀に及ぶ旅行収支の赤字を解消させたのが新興国の経済成長と円安を背景とした訪日客の急増だ。訪日客が今後も増えれば、黒字の定着が視野に入る。

(一面参照)

旅行収支は外国人が日本で使ったお金から日本人が海外で使ったお金を差し引いて計算する。15

訪日外国人の増加に合わせて旅行収支も黒字化



年度の黒字額は1兆2731億円だった。訪日外国人数は中国、タイ、ベトナムからの旅行者に対する査証(ビザ)の発給要件の緩和などで13年ごろから急増している。日本政府観光局の調べでは、15年度の訪日外国人数は2135万人と初めて2千万人の大台を突破した。外国人が日本

旅行収支は日本の経済成長に合わせ、1960～2013年度は赤字の時代が続いた。観光や仕事で海外に出かける日本人が増えたためだ。

しかし、アベノミクスに伴う円安などの影響で13～15年度は3年連続で海外に出かける日本人が減っている。

15年度には日本を訪れる外国人の数が海外に出かける日本人の数を上回

政府は訪日外国人数を20年に4000万人に増やす目標を掲げている。SMBC日興証券の宮前耕也氏によると、政府目標を達成すると旅行黒字は約6兆円に膨らむ。旅行収支の黒字が増えれば、その分、経常黒字を押し上げる要因となる。